

2022 年度 個人研究実績・成果報告書

2023 年 2 月 7 日

所属	商経学部	職名	専任講師	氏名	西井 真祐子
研究課題	擬人化性のある感覚訴求が社会的に望ましい消費行動に及ぼす影響				
研究キーワード	擬人化性、SDGs	当年度計画に対する達成度	3.概ね順調に研究が進展し、一定の成果を達成したが、一部に遅れ等が発生した		
関連するSDGs項目	8.働きがいも経済成長も	12.つくる責任 つかう責任	3.すべての人に健康と福祉を	2. 飢餓をゼロに	
<p>1. 研究成果の概要</p> <p>研究計画に沿って、インターネットを活用した調査を複数回実行できた。調査の結果得られた研究成果については、2023 年度開催の国際会議にて発表予定である。なお、フィールド実験については新型コロナウイルス感染拡大の状況を考慮して計画を延期している。</p> <p>2023 年度発表予定のカンファレンス（申込済み、審査結果待ち）</p> <ul style="list-style-type: none">・ EMAC Annual Conference 2023（The European Marketing Academy, Odense 開催）・ EACR 2023（The European Association for Consumer Research, Amsterdam 開催） <p>他、国際学術誌に査読中の論文が一本ある。</p> <p>2. 著書・論文・学会発表等（査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）</p> <p>【論文（査読あり）】</p> <p>【著書・論文（査読なし）】</p> <p>【学会発表等】</p> <p>（1. に記載したカンファレンスにて発表予定）</p> <p>3. 主な経費</p> <ul style="list-style-type: none">・ インターネット上での調査参加者の募集費用および報酬の支払い・ 画像および画像編集ソフトの購入費・ 英文校正料 <p>4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）</p> <p>【科学研究費】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 基盤研究（C）：2022 年度～2024 年度、代表、課題名「擬人化性が消費者に与えるネガティブ効果の検討」（22K01749） <p style="text-align: right;">（本文は <u>2 ページ以内</u> にまとめること）</p>					